

心開く雰囲気 ～ 知恵、愛、導き ～

筆者は、2024年9月14日『新座志木がん哲学外来・カフェ代表：岸尾光先生』（新座志木バプテスト教会の牧師）の主催『第7回がん哲学外来市民学会認定コーディネーター アドバンスコース』（埼玉県ふじみ野市 東京国際学園 研修センターに於いて）に出席した。『がん哲学外来市民学会代表』として『総評』の機会が与えられた。参加者の【『樋野動物園』の『ピグミーマーモセット』（がん哲学外来あびこカフェの店長 中野綾子氏）と『春風のようなゴリラ』（目白がん哲学外来カフェ代表 森尚子氏）＝『美女姉妹』】に さりげなく当てた下記の宿題が大好評のようである（画像）。

☆「いぬのおまわりさん」の現代的意義をのべよ！

→何の解決もしないが、一緒に困ってくれる人がいることで慰められる

☆「ドラえもん」の現代的意義をのべよ！

→どんな境遇に関らず、靴を履いて外に出ると何か（出会い）が与えられる

☆「アルプスの少女ハイジ」の現代的意義をのべよ！

→喜んで 無邪気に 小さなことに 大きな愛を込める

☆「サザエさん」の現代的意義をのべよ！

→ビジョンが明確であれば人はついてくる（手伝ってくれる）。

筆者は【『冗談を本気でする胆力』で『新渡戸稲造（1862-1933）の真似』ですね！】と返事した。【常に志を忘れないよう心にかけて記憶することである】

【『こころ開くことの大切さを 現代の若者に感じてもらいたいものです』&『その通りですね！ その背後に、人生の知恵、神様からの知恵、愛、導きが読めますね』&『先生の総評で、いっきに がん哲学の雰囲気になりました。これからも、哲学を楽しんでいきます』】との心温まる、励ましのメールを頂いた。

早速、『ピグミーマーモセット』&『春風のようなゴリラ』が、【『樋野語録辞典』&『樋野カルタ』】を、こっそりと企画されるようである。実現したら、歴史的大事業となろう！

現代的意義

樋野興夫

○いぬのおまわりさん

何の解決もしてないが、一緒に困ってくれる人がいることで慰められる。

○ドラえもん

どんな境遇にも関わらず、靴を履いて外に出ると何か(出会い)が与えられる。

○アルプスの少女ハイジ

喜んで無邪気に小さなことに大きな愛を込める。

○サザエさん

ビジョンが明確であれば、人はついてくる(手伝ってくれる)。

